

令和4年度 NPO 法人もったいない学会通常総会

日 時 2022年7月10日(日) 10時から 10時30分まで
場 所 Zoom オンライン会議

【総会資料】

■ 次第

1. 開会

2. 総会成立要件の確認

定款第26条により、総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することはできない、とあります。

3. 会長挨拶

4. 議長の選出

定款第25条により、総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する、とあります。

5. 議事録署名人選任

定款第29条(総会の議事録)により、議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人2人が、記名押印又は署名しなければならない、とあります。議事録署名人について、議長より本日出席の正会員の2名を指名し、お諮りします。

6. 議題審議

定款第27条により、総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる、とあります。

- (1) 第1号議案 令和3年度事業報告及び決算報告の件
- (2) 第2号議案 令和4年度事業計画及び予算計画の件
- (3) 第3号議案 役員(理事・監事)の選任の件

7. 閉会

第1号議案 令和3年度事業報告及び決算報告の件

I. 令和3年度事業報告

(概況)

皆様のご支援、ご協力のもと、社会に貢献できる学会に発展させるべく、精力的に活動を行いました。以下に活動状況の詳細をご報告いたします。

【参考：定款で定められている学会の目的は以下の通りです】

「この法人は、広く一般市民に“石油ピーク”を啓蒙し、石油を大切に使う方策を検討し、その知識、知恵を広く一般に広げることによって、心豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。」

1. 学会事業活動

1) シンポジウムの開催

実施無し（コロナ禍の影響、オンライン開催の検討・環境整備を行った）

2) サロンの開催

・2回開催。

（令和3年9月24日、10月26日）

3) その他の啓蒙活動として、コラムサイト（シフトム）を通じた情報発信、シンポジウム・サロン講演資料の会員限定公開を実施した。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

・3回開催。

（令和3年8月2日、9月15日、10月21日）

・適宜メール審議

2) 総会

通常総会を1回開催した（令和3年8月25日）。

3. 会員の状況

会員の現況(令和4年3月31日現在)

※カッコ書きは前年度

正会員：64名（79名）

一般会員：41名（56名）

賛助会員：0名（1名）

学生会員：1名（1名）

計：106名（137名）

II. 令和3年度決算報告

下記資料を参照下さい。

・活動計算書（案）

・貸借対照表（案）

・財産目録（案）

・監査報告書

第2号議案 令和4年度事業計画及び予算計画の件

令和4年度事業計画（案）

【方針】石油ピークが早晩、石油減耗に至る転換期にあるとの時代認識を共有し、自然と共生する低エネルギー社会などの理念の実現に向けて、社会へ情報発信を行う。具体的には、理解のためには専門的知識を必要とする社会に生きるさまざまな資源、エネルギー、環境に関する科学・技術を科学的、中立的に研究し、その成果を体系的にかつ国民が理解できる内容でまとめて発信して、平和的な文明転換の国民的な活動強化に貢献する。

具体的には、積極的にSNSで公開されている動画、インターネットでアクセスできる優れた報文、優れた書籍などを紹介し、情報を共有する会員を増やす。さらに学術大会、シンポジウム、サロンを開催して成果をまとめ、もったいない学会の電子出版としてインターネットを通じて公開し、有料会員を増やす。

1. 学会事業活動

1) 学会WEBの発信力向上

調和性・戦略性を十分吟味することにより情報発信力の向上につとめ、信頼・支持される学会WEBを構築する。学会WEB、コラムサーバ等におけるコンテンツ内容・構成の工夫に努める。具体的取組として、

- ・ホームページの構造と内容の改善および運用方法改善による学会の基本的情報活動強化
- ・学会コラム誌シフトムの機能改善、および学会役員、会員の投稿の強化。学会役員の目標投稿数の設定。
- ・SNS（Facebook, Twitter等）への学会役員、会員の参画の拡充

2) シンポジウムの開催

シンポジウムを1回以上程度開催する。東京一極集中から地方分散の考えを踏まえ、その際地域での普及も重視した地方開催も予定する。

3) サロンの開催

サロンを4回程度開催する。

4) 研究会の開催

「Limited Earth 研究会」にて、数回勉強会を開催する。

5) 出版事業

- ・WEB会誌発行
「もったいない学会WEB 学会誌」の編集・公開業務を行う。特集号を企画する等して論理深度を深める。
- ・啓蒙・教育を目的とした新規刊行物の作成・出版・販売として電子出版事業を、国際的な発行を含めて計画する。

6) 表彰など

顕著な事業を行っている活動者・団体を顕彰する。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

4回程度開催する。

- ・学会の活動の執行機関として、理事の役割分担と協同の体勢の向上を図り、会員と社会の真の進歩に貢献する。

2) 総会

通常総会を1回開催し、必要に応じて臨時総会を開催する。

令和4年度事業予算計画（案）

(単位：円)			
収入の部		支出の部	
項目	予算	項目	予算
会費収入	270,000	事業費	255,000
正・一般・学生会員	250,000	シンポ・サロン・講演会開催費	80,000
賛助会員	20,000	WEBサーバレンタル・管理費	100,000
正会員入会金	0	Web誌等発行費	65,000
		Limited Earth 研究会活動費	10,000
事業収入	0		
	0		
		管理費	100,000
		事務作業委託費(印刷・通信費含)	90,000
		振込手数料	10,000
			0
小計	270,000	小計	355,000
昨年度からの繰越金	95,000	予備費	10,000
収入合計	365,000	支出合計	365,000

第3号議案 役員（理事・監事）の選任の件

- ・ 理事
 - 大久保 泰邦（重任）
 - 安藤 満（重任）
 - 五十嵐 敏郎（重任）
 - 久保田 宏（重任）
 - 鈴木 秀顕（重任）
 - 山本 達也（重任）
 - 松島 潤（重任）
- ・ 監事
 - 佐藤 裕久（重任）